日本工学院専門学校	開講年度 2020年度	(令和2年度) 科目名	ITストラテジ					
科目基礎情報								
開設学科 ITスペシャリスト科	コース名	モバイルアプリ専り	開設期	前期				
対象年次 1年次	科目区分	` 必修	時間数	30時間				
単位数 2単位	開講時間	月曜 1時限目~	授業形態	<b>護 講義</b>				
教科書/教材 IT戦略とマネジメント(インフォテック・サーブ) / 授業内配布プリントなど								
担当教員情報								
担当教員 白幡知之 煤孫統一	郎	実務経	験の有無・職種 ┃有・講師					

学習目的

この講義では、企業活動で利用されている企業会計や経営科学、さまざまな関連法規についても学習し、社会人になるための基礎的スキルを修 得するものとする。経営目標を達成するための経営戦略や、ビジネス分野で利用される情報システムに関する産業や情報システムを利用したビジ ネス産業について理解を深める。また、経営戦略を具体化する情報システムの立案方法や、情報システムを理解し情報処理技術者としての見識を 広げる。

## 到達目標

企業ではさまざまな戦略が立案され、それを実現するために多種多様な情報システムが利用されている。これから情報処理技術者として社会人 になるにあたり、授業で学んだ知識を元に企業経営の考え方などを理解する。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されて いる情報処理技術者試験(国家試験)の各種試験区分における基礎的知識の修得をすることによって、試験の合格も目指すものとする。

## 教育方法等

キャリアサポートブックに沿って就職活動の流れと書類の作成方法について学ぶ。まずはじめに自己分析を行い自分の興味・志向を 確認する。次に業界と職種を理解し自分が進むべき方向を見定め、企業へのエントリー方法と履歴書の書き方を学ぶ。さらに筆記試験 授業概要と面接試験の概要を学び後期に受講する「キャリアデザイン2」の実践的学習につなげる。筆記試験対策として毎回「就活ドリル」の問 題を演習する。一般教養・SPI・面接対策 履歴書・作文作成。

注意点

この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、 社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以 上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価方法	種別	割合	備  考
	試験・課題		試験と課題を総合的に評価する
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	レポート	0%	
	成果発表 (口頭·実技)	0%	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
授業計画(	1回~15回	3) 1回(	2 )時間 ※45分を1時間とする

//	(口頭・実技)	U70				
				受業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画	(1回~15回	1回(2	)時間	※45分を1時間とする		
回	授業内容			各回の到達目標		
1回	企業活動			企業活動の目的、組織体系、経営管理を理解する		
2回	企業会計			財務会計、管理会計を理解する		
3回	経営科学(1)			応用数学、OR、IE分析手法を理解する		
4回	経営科学(2)			QC手法、業務分析を理解する		
5回	法務と標準化(1)			知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規を理解する		
6回	法務と標準化(2)			コンプライアンス、標準化と認証制度を理解する		
7回	経営戦略マネジメント			経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価、経営管理システムを理解する		
8回	技術戦略マネジメント			イノベーション、技術開発戦略の立案、技術戦略マネジメント手法を理解する		
9回	ビジネスインダストリ(1)			ビジネスシステム、エンジニアリングシステムを理解する		
10回	ビジネスインダストリ(2)			eービジネス、民生機器と産業機器を理解する		
11回	情報システム戦略の概要(1)		(1)	情報システム戦略のプロセスを理解する		
12回	情報システム戦略の概要(2)		(2)	業務プロセスとソリューションビジネスを理解する		
13回	情報システム企画(1)			企画プロセス・開発計画を理解する		
14回	情報システム企画(2)			要件定義プロセス・分析を理解する		
15回	情報システム企画(3)			調達を理解する		